

2010.10.10
14A

反貧困キャラバン、県内に



生活保護改善訴え 12日に津でシンポ

貧困や格差をなくそうと訴える「反貧困」運動の全国キャラバンが9日、桑名、津西市を訪れ、生活保護の対応改善を訴えた。

県内では弁護士や社会福祉士らがグループを作り、生活保護制度についての積

「所持金がゼロになったらどうするか」というシール投票に答える高校生■津市の津駅前

極広報などを訴えてきた。今回は、相談窓口で申請を思いとどまらせる「水際作戦」を防ぐため、窓口申請書を備え付けることを各自治体に求めている。

この日は、津駅前で「所持金がゼロになったらどうしますか」というシール投票などを通じて貧困根絶を訴えた。木村夏美弁護士は「生活保護バッシングがあるが、正しい情報を知ってもらえるきっかけになれば」と話している。

12日には午後2時から津駅前のアスト津でシンポジウムを開き、生活保護基準の引き下げと社会保障について、三重大の深井英喜准教授が話す。無料。

問い合わせは三重合同法律事務所の木村弁護士（059・226・0451）へ。